

第 96 期
株 主 通 信
(中間報告書)

2019年 3 月 1 日から

2019年 8 月31日まで



株 式 会 社 歌 舞 伎 座

証券コード：9661

社長就任ごあいさつ

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
本年5月30日付で代表取締役社長に就任いたしました武中雅人でございます。

株主の皆様におかれましては、平素より弊社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

株式会社歌舞伎座は、1949（昭和24）年、創業者大谷竹次郎が戦後の歌舞伎座復興のために設立し、以来、70年を経過してまいりました。

その間、創業家で社長を務めてまいりましたが、この度、私がおの大任を仰せつかることとなり、日を追うごとに「歌舞伎」の存在の大きさを実感し、その重責に身の引き締まる思いでいるところでございます。

私の社会人スタートは、まさしくこの劇場歌舞伎座で、松竹(株)入社後、歌舞伎座の切符もぎりを原点とし、その後、都内の各劇場や全国で歌舞伎興行に携わってまいりました。

また、現在の第五期歌舞伎座再開発の際には、松竹(株)歌舞伎座開発推進室長として、建替え事業に全力を注ぎ、「伝統の継承と新たな創造」をコンセプトに、外観を踏襲したうえで、最新機能を備えた歌舞伎座に息吹を吹き込みました。

「歌舞伎座と、お客様の心の寄りどころを守ること」を私の使命とし、また、「歌舞伎を観たことがない日本人をゼロにすること」との夢を持ちつづけ、日常を忘れさせる「祝祭空間」と「かべす(※)文化」で、国内外の幅広い層に感動と豊かな潤いをもたらす存在でありたいと思っております。

今後も当社グループ全体で、劇場歌舞伎座を中心とする不動産事業を主体に、食堂・飲食、売店事業においても、歌舞伎座に相応しいサービスを提供していくことで、世界に誇る日本の伝統芸能歌舞伎の継承と発展に寄与してまいります。

今後とも、株主の皆様のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※「かべす」

江戸時代の芝居小屋では、芝居はもちろん「菓子(かし)・弁当(べんとう)・すし」といった味覚が楽しまれていました。



代表取締役社長

武中雅人

2019年11月

上半期の事業概況

第96期第2四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年8月31日まで）の当社グループ売上高は1,902百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は153百万円（前年同期比28.8%減）、経常利益は174百万円（前年同期比27.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は112百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

事業別概況

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸物件におきましては、賃料改定時期を迎えたテナントと協議を重ね、地価の上昇を背景に固定賃料の増額を行い、また、売上歩合賃料についても実績に見合った見直しを図り、収益向上に努めてまいりました。

地下鉄連絡口と地上を結ぶエスカレーター脇の広告スペースは、リピート利用が定着し、ホテルを始めとした近隣の施設開業や、新商品の需要に引き合いも多く、安定した収入源となっております。

企画サービス面においては、都内のホテルと提携した、劇場と附帯施設を巡る「歌舞伎座シアターツアー」の実施や、5階屋上庭園を利用した野点イベントの定着化、また、地下木挽町広場での催事や人気キャラクターのグリーティングに協力し、施設全体の集客向上に努めてまいりました。

一方、大勢のお客様が来場されるGINZA KABUKI ZENは竣工から7年目に入り、3年間に亘る建物・設備のメンテナンス計画を基に、前期に引き続き、各種設備の大規模なメンテナンス作業を実施してまいりました。

劇場区分では、昨年から行っているロビー敷物貼替のうち、残りの地階と3階ロビー部分を行い完了させました。同様に、舞台演出も兼ねる客席天井照明器具交換の第二期工事を実施しこちらも完工し、ロビー天井の照明器具の一部も更新いたしました。さらに、舞台面では緞帳設備の制御盤改修、また、楽屋各居室の空調機入替え（第二期）を実施いたしました。

施設全体のメンテナンス工事では、エスカレーター・エレベーターといった昇降設備の整備や部品交換、地下機械式駐車場の電装機器交換など、安全性を求められる設備を優先し、改修ならびに保全工事を実行いたしました。

以上の結果、売上高は、賃料以外の不動産収入が減少したことが影響し、前年同水準の954百万円となりました。損益面では、劇場設備の更新に係る費用の増加および固定資産税等の負担増により、営業利益は354百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

<食堂・飲食事業>

食堂の利用者増加と稼働率向上を課題に、お客様に幕間のお食事を楽しんでいただくため、毎月、演目に因んだお料理や折詰弁当を提供してまいりました。

今後の展望としましては、伝統の幕の内弁当を中心としつつ、様々なお客様の嗜好に合わせ、和食以外にもバラエティに富んだお食事をご用意してまいります。

なお、3階「花籠」の窓から外の景色が楽しめるスペース、「花籠BAR」の営業を始め、徐々に浸透しております。

また、「花籠」の有効利用として、休館日や幕間の食事時間以外を利用した落語の会や各種催事・セミナーを積極的に展開し、当上半期は74件（前期55件）開催をいたしました。

喫茶室「檜」では、外部から直接入店できる開放時間を拡大し、新たな顧客の受け入れに取り組みました。

以上の結果、売上高は360百万円（前年同期比1.7%増）となりました。損益面では増収に加え、人員配置の見直し等により、営業利益は16百万円（前年同期比108.0%増）となりました。

<売店事業>

劇場内売店において、毎月、演目由来の商品を多数取り揃え、季節の飾りや商品の陳列を工夫し、側面から公演を盛り上げるための取り組みを行ってまいりました。

木挽町広場におきましても、数多くの催事や抽選会、スタンプラリーなどのイベントを実施し、集客力向上に努めました。

また、初めてのお客様にも歌舞伎を身近に親しんでもらえるよう、舞台で使用している小道具を揃えた写真スポット「GAKUYAコーナー」を開設、好評にご利用いただいております。

食品雑貨「はなみち」では、新規顧客獲得のため、歌舞伎座タワーのオフィスで働く人を対象に、パンの割引券（50円）を3,000枚配布いたしました。

その他、劇場内や木挽町広場のすべての売店（実演コーナーを除く）やドリンクコーナーでは、各種クレジットカード、電子マネー決済が可能となり、外国人を含めた幅広い層の方にご利用いただいております。

以上の結果、売上高は、木挽町広場の売上減少等により587百万円（前年同期比2.1%減）となりました。損益面では、お土産店舗に一定の人員を配置したことにより、営業利益は41百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

食堂・飲食、売店事業における共通の取り組みとして、環境面に配慮した「歌舞伎座エコプロジェクト」と題し、「限取エコバック」利用促進キャンペーンや、プラスチック使用削減のため「生分解性ストロー」への切り替えなどを実施しております。

また、今後ますます増加が見込まれる海外からのお客様に対応するため、30か国以上の言語に対応した自動翻訳機「ポケットーク」を常備いたしました。

さらに、新たなユーザーの掘り起こしを目的に、「歌舞伎座LINE公式アカウント」を8月に開設、歌舞伎座でのひとときをお楽しみいただけるように、お食事メニューやお土産、イベントなど、様々な情報を定期的に発信してまいります。

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年8月31日)	科 目	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	1,419,694	1,736,579	流動負債	764,218	933,204
固定資産	24,673,301	24,911,919	固定負債	14,036,959	14,058,288
有形固定資産	15,828,164	15,622,711	負債合計	14,801,177	14,991,492
無形固定資産	2,625,838	2,624,542	純資産の部		
投資その他の資産	6,219,299	6,664,665	株主資本	9,481,847	9,532,958
資産合計	26,092,996	26,648,499	その他の包括利益累計額	1,809,971	2,124,048
			純資産合計	11,291,818	11,657,006
			負債純資産合計	26,092,996	26,648,499

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2018年3月1日 至 2018年8月31日	当第2四半期 連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日
売上高	1,908,504	1,902,093
売上原価	1,410,440	1,462,924
売上総利益	498,063	439,168
販売費及び一般管理費	282,130	285,402
営業利益	215,932	153,765
営業外収益	27,377	21,136
営業外費用	2,580	736
経常利益	240,730	174,165
特別損失	20,445	12,465
税金等調整前四半期純利益	220,284	161,700
法人税等合計	69,777	49,554
四半期純利益	150,506	112,146
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,506	112,146

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2018年3月1日 至 2018年8月31日	当第2四半期 連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,617	388,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,207	△17,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,220	△60,152
現金及び現金同等物の増減額	270,189	311,397
現金及び現金同等物の期首残高	987,356	1,324,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,257,546	1,635,832

会社情報 (2019年8月31日現在)

商号 株式会社歌舞伎座
設立 1949年11月
資本金 2,365,180,000円
発行済株式総数 12,170,000株
株主数 5,281名
公告掲載URL <https://www.kabuki-za.co.jp/annai>
(プレス等開示情報) (ただし、電子公告ができない事由が生じたときは、官報にて行います)

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月下旬
基準日 定時株主総会の議決権、期末配当：2月末日
(中間配当を実施するときは8月31日)

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
同 連絡先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く 9:00~17:00

役員

取締役会長	大谷信義	
代表取締役社長	武中雅人	
代表取締役専務	池田喜実	
常務取締役	岩崎敏久	
取締役	近藤諭司	
	小平健	(社外取締役)
	松平誠	(社外取締役)
	尾崎啓成	(社外取締役)
	武藤寛征	(社外取締役)
常勤監査役	安形泰介	(社外監査役)
監査役	大谷二郎	
	井ノ上正男	(社外監査役)
	稲垣文美	(社外監査役)

株主優待のご案内

優待内容

劇場歌舞伎座の観劇ご招待（1・2階席）

株主優待基準日・期間

株主優待基準日	優待対象期間
毎年2月末日	6月興行～11月興行分
毎年8月31日	12月興行～翌年5月興行分

優待基準

所有株式数	6ヶ月間優待枚数
150株～	1枚
450株～	3枚
750株～	3枚
1,000株～	4枚
1,500株～	6枚 ※
2,000株～	8枚 ※
3,000株～	12枚 ※
5,000株～	18枚 ※

「150株～、450株～」は年間枚数となります

※2019年8月期における優待枚数について（1,500株以上ご所有の株主様）

新開場から8年を迎えるにあたり、2020年4月を休館とし、舞台設備全般の保全作業を実施することとなりました。つきましては、（今2019年8月期の）1,500株基準以上の株主様の6ヶ月間優待枚数を、下記のとおり変更させていただきますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

所有株式数	1,500株～	2,000株～	3,000株～	5,000株～
優待枚数	5枚	7枚	10枚	15枚
ペア指定の場合	2枚×2回 1枚×1回	2枚×3回 1枚×1回	2枚×5回	2枚×2回 4枚×2回 3枚×1回

味の顔見世～新メニュー「伝統と創作の中国料理」！

上海料理の技を軸とし、旬の食材を盛り込む洗練された料理で
話題の脇屋シェフ監修！

歌舞伎座で「伝統と創作の中国料理」が楽しめます。

「コラーゲンたっぷりフカヒレ煮込みご飯」 4,000円

「蟹肉とフカヒレのあんかけ丼」 2,800円

＜ご予約はこちらから＞

お電話 03-3545-6820

インターネット



「歌舞伎座LINE公式アカウント」を開設しました！

定期的にお得なクーポンや食事メニュー、お土産、イベント
などの最新情報をお届けしますので、ぜひ、ご登録ください！



「歌舞伎キャラクターワールド」が誕生！

人気キャラクターの歌舞伎コラボ商品が勢ぞろい！
ふだん、それぞれのお店でしか手にはいらない、「歌舞伎コラボ
キャラクター」が一挙に揃うのは、唯一お土産処「楽座」だけ！

かぶきにゃんたろうをはじめ、スヌーピー、トムとジェリー、
KAWAII KABUKI (ハローキティ、シナモロール、ポムポム
プリン) など、選りすぐった商品が60品目以上





株式会社歌舞伎座

〒104-0061東京都中央区銀座四丁目12番15号

電話 (03) 3544-1075

UD
FONT